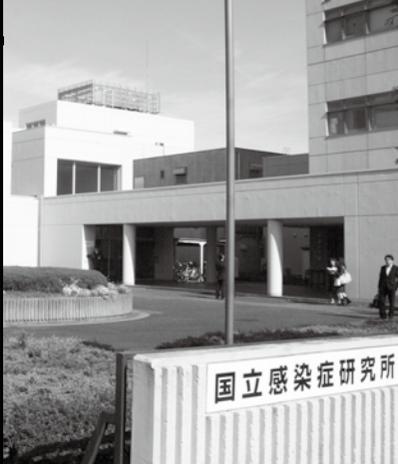


連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 広告を裏読みする
- 42 大往生考
- 51 西風
- 63 交差点―読者の声・編集者の声



厚労省医系技官と国内ワクチンメーカー、三位一体の「利権の温床」にすぎず、新感染症に対応する能力は皆無。クルーズ船で世界に恥を晒し、今後は国民の命を危うくする。「司令塔」の無能こそが国難だ。(114頁)

- 102 社会・文化 ● 情報カプセル
- 104 米中距離ミサイルに「硫黄島配備」説
- 106 極めて危うし「東京五輪開催」
- 108 ゴルフ場「預託金問題」が深刻化―まるで「ぼったくり詐欺の世界アカデミー賞」が遠い「日本映画」―業界は「黄金期の只中なのに」
- 112 日本企業は「機密情報」盗まれ過ぎ―サイバー攻撃「スパイ天国」の惨状
- 114 日本企業は「機密情報」盗まれ過ぎ―サイバー攻撃「スパイ天国」の惨状
- 114 国立感染症研究所 ― 新型肺炎で機能不全の「利権集団」
- 92 皇室の風―岩井克己
- 94 日本の科学アラカルト
- 96 新・大学評判記
- 98 本に遇う―河谷史夫
- 100 をんな千一夜―石井妙子
- 118 マスコミ業界ばなし

3 連載(巻頭インタビュー)岩本愛吉―パンデミックに備え無し」の日本

特別レポート

中国「国連機関支配」の猛毒

―新型コロナウイルスで見た「暗黒時代」の到来

- 6 米国で常態化する「バラノイア政治」―「憎悪の館」ホワイトハウスの内幕
- 14 ドイツ政治・経済が「同時衰退」
- 16 ブーチン王朝「不滅化」のシナリオ―権力と富を独占する「新貴族階級」
- 18 WORLD ● 情報カプセル
- 22 トランプ「中東和平案」は実現する?!―イスラエル偏重なのに「奇妙な評価」
- 24 気候変動で「新感染症リスク」急増
- 28 中露vs米国「インド洋争奪戦」が激化―要所スリランカを巡る角逐
- 30 「感染症」が変える世界経済―「コロナショック」の重い教訓
- 32 武漢肺炎で過熱する中国の政争
- 34 医療覇権も「米中二強」の争いに
- 38 連載(現代史の言霊)三月の合唱―バルト三国の「歌う革命」(一九九〇年)

WHOの露骨な「中国追従」が、事の深刻さの証左。保健、食糧、知財、通信―、中国は世界経済の「肝」となる国連機関の主導権を握り、中国のための新秩序の構築を狙う。米欧、日本との衝突は不可避だ。(6頁)



感染拡大を招いた初期対応のお粗末は、安倍官邸の無気力が原因。頭の中は検察人事介入と「司法支配」で一杯だったからだ。国民の命より、政権関係者の保身が第一。最重要の危機管理で馬脚を現した。(48頁)

- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 首相補佐官「和泉洋人」の末路
- 48 安倍政権を蝕む「新型肺炎」
- 52 連載(政界スキヤン)菅義偉「検察人事介入」の勝算と代償
- 54 安倍「四選論」の裏の神経戦
- 56 新型「コロナ」混乱の戦犯は内閣官房―危機管理担当「事態室」はパンク寸前
- 58 連載(罪深きは)この官僚

- 64 日本証券業協会会長「鈴木茂晴」の悪評―三井不動産会長との異様な関係
- 66 「帝国データバンク」の秘された内情―強引営業で栄える「創業一族」
- 68 ローソン「竹増経営」に募る不安
- 71 連載(クローズアップ)林欣吾(中部電力次期社長)―首都圏侵攻と「原発処分」を背負う
- 72 連載(企業研究)MS&AD
- 76 内憂外患で沈みゆくメガ損保
- 76 ゴーン無き「ルノー」日産の零落―独裁者追放で「喪失」したもの
- 78 経済 ● 情報カプセル
- 82 連載(地方金融の研究)七十七銀行―宮城県復興のシンボルを「ボイ捨て」
- 84 JR東日本で「労組リスク」が増大
- 86 日本電産「社長使い捨て」の悪弊―「傍流経営者」永守の限界と焦燥
- 88 キリン「荒れる株主総会」の墓穴
- 90 経産省「中小企業支援事業」の暗部―「企業再生のプロ」に重大疑義発覚

相次ぐ自然災害と海外事業の誤算で大打撃。東京海上との収益力格差は広がるばかりだ。「身を切る改革」には手をつけず、安易な保険料値上げを顧客に強いるばかり。苦境でも「ぬるま湯経営」が続く。(72頁)

